

ProMED-mail 情報 2015年10月版

ProMED-mail <http://www.promedmail.org/> の記事から、感染症業務関係者の皆さまにピックアップ記事を紹介します。FORTH（厚生労働省検疫所の情報提供サイト <http://www.forth.go.jp/>）に掲載されるものは省略しています。

編集：厚生労働省福岡検疫所

掲載日	表題	概要
31日	エンテロウイルスD68 日本	昨年、米国で1000人以上の子供にエンテロウイルスD68の感染があったが、日本は稀であった。厚労省8月報告に47人の麻痺症状を呈した小児8人にエンテロウイルス感染があり、うち2人にD68を検出。
31日	輸入蚊 USA	近年ネッタイシマカによるデング伝播がフロリダで、ヒトスジシマカによるチクングニア伝播がニューヨークで発生。カルフォルニアでもネッタイシマカが確認され積極的調査と制御を実行。
28日	内臓リーシュマニア症 南スーダン	南スーダンは内臓リーシュマニア症(カラ・アザール)が最も流行している地域。先週だけで315人罹患し10人死亡。今年度の累計では4939人罹患し152人死亡。
27日	慢性E型肝炎 日本	1893例の肝移植後全国調査にて、2例の輸血後慢性E型肝炎を初めて確認。移植後免疫抑制剤により慢性化したものと推測。献血時のE型肝炎ウイルス検査は感染率が比較的高い北海道のみにて実施。
26日	マラリア RTS,Sワクチン	世界初のマラリアワクチンRTS,Sの臨床試験をWHOが実施。幼児に投与されるRTS,Sワクチンは4回接種で予防効果が認められた。このワクチンの供給方法は未だ検討中。
24日	黄熱 南スーダン	ジュバ国際空港で偽イエローカードが49米ドルで取引。南スーダンは黄熱リスク国であり、事態は国内外に黄熱流行をもたらす危険大。
21日	狂犬病 インドネシア	バリ島には50万頭の野犬あり、半分は狂犬病ワクチン未接種。毎年4億人の観光客あり、17000人以上の犬咬傷。今年上半期で12人死亡。
21日	放射線、がん 日本	福島原発緊急事故対応した従業員中に放射線関連がんである白血病の1例目。事故原発除染のため44000人が従事。2013年のWHO調査では、日本人全般の放射線リスクは低く、がん発生率上昇は認められなかった。しかし、最汚染地域小児の白血病リスクは7%上昇、原発内で緊急事故対応した従業員中1/3に上昇したがんリスクを予測。
21日	赤痢 USA	34州にまたがる307人の旅行者に赤痢ゾネイ菌感染流行。罹患者は男性ホモ集団に集積。菌はアンピシリン、トリメトプリム/スルファメトキサゾールに40~80%の高い薬剤耐性を示した。
17日	鳥インフルエンザ(H7N9) 中国	2013年から中国で発生し、累積感染者数678人、累積死亡数271人。今年7月に浙江省に2人が発症してから、浙江省保健当局は10月2日に感染流行第4波に入ったと警告。
13日	ポリオ 世界	今年の発生数。野生型48(パキスタン36、アフガニスタン12)。ワクチン由来型13(マダガスカル9、ウクライナ2、ギニア1、ナイジェリア1)
9日	日本脳炎 フィリピン	フィリピンは日本脳炎ウイルス流行地域であるが、近年の感染報告例は少ない。Cordillera地域で7人の発症あり。6人は治癒、1人が治療中で軽快傾向。
8日	煙害 インドネシア	9月にスマトラ、ボルネオ2島で発生した森林火災による煙で、呼吸器疾患患者が30万人以上発生。過去3週間に呼吸器疾患が約20%急増。
4日	狂犬病 USA	ワイオミング州初のヒト狂犬病感染報告。感染コウモリに暴露。野生コウモリやスカンクに、しばしば狂犬病感染があるが、全米でヒト感染は毎年1、2例。しかし発症すれば致命的。
1日	サルモネラ感染症 USA	9月28日までに全米34州で計671名のサルモネラ感染症の流行。感染源は汚染されたメキシコ産キュウリ。131名が入院治療し、3名死亡。